

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



SHORT & SHORT 07

下僕のしもバ

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



SHORT & SHORT 07

下僕のしもぺ

先日は
大変ご迷惑を
おかけしました…

いえいえ
お気になさらず…

そのこと
関しましては
そちらから…

—メイドさんを…

寄越して
頂きましたので…



?

…メイド?

…ですか?



話を聞くと
そちらで
アイドルも
やっているそうで…

もっこの
仕事に関して
勉強がしたい…
とのことで来てくれた
みたいですがね…

とりあえず
少しの間だけ
と思いますが…

—この子を
お借りします





誰のせいで
そうなった
のかもね…

誰のところへ
行っているのかも…



ふふっ
もちろん
知っているよ…

千夜ちゃん
お勉強しに
行っている事はね…



そうだったか…



ふふっ♪

その分のお礼も
ちゃんとしてくるように
お願いしたけれど…

うまくやって
くれているかなあ…？

千夜ちゃん
ちよっぴり
頑固だから…



あなたよりも
仕事ができる人
らしいから—

いろんなことを
教えてくるんじや
ないかな？



…確かに
自分のミスで
先方に迷惑を
かけたのは
反省しているが…

彼女がそこまで
しなくても…



その年で人に
仕えることに
なるなんて…

君も大変だね…



何もなければ
いいけど…
…その
ちとせの言う
お礼って…



ここに君が
来たという事は
という事は…
君そのものが…

それなら
期待してpも
いいのかな？

これもそのうちの
一つという事か…

お嬢さまに
いただいた恩をお返し
しているだけです…

私は別に…



お嬢様からの…

贈り物という事でね…





ちがった
かな…?

アレ?

…何を…
しているの
ですか…?

サッ
…



…何の
ことですか?

君のお嬢様に
話は聞いと
思っていたん
だけどね…



俺の言葉は
お嬢様の言葉
だということを…

つまり俺の
すること…

この指も…



お嬢様のする事
だからね?

ふん
…



…!?

フム

スト
…



それは…
…確かに…

だったら
わかってるよね？

ここに何を
しに来たのか…

もしかして
お嬢様はこんな
事はしないのかな？

君とこうして…
遊んだりは
しないのかな？

…そのような
事はあなたは
関係の無い事で

—さて
正解は…
どこか…

なに…？

ズルッ





どうした？
判らないか？

だったら
教えてあげよう…

フツ…



!?

営業のやり方
くらい知って
おかないとね…

ズッ…



—こうして…



—さあほり—
君がお嬢様の
しもへなら
それらしくしなれど…

しもへらしい恰好が
あるだろう…？
いつもしているよ…

さ…の…

ズル…



使って
もらえる
ように...

くぱあ...

!?

自分から...
こっぴやうて...

ゴ
イツ

僕だった
なら...



お願い
出来るように
ならないとな?

ズ

...

ズ

わん

じゃないと
遊んでもらえ
ないぞ?

わん



ッ!?

ズ



この様なことを...

この様な汚らしい事を...

ハッ!!



ッ

ッ



ビクッ

グッ

ッ!!!



お嬢様がお望みになるはずが...

じゅる

!?

グッ

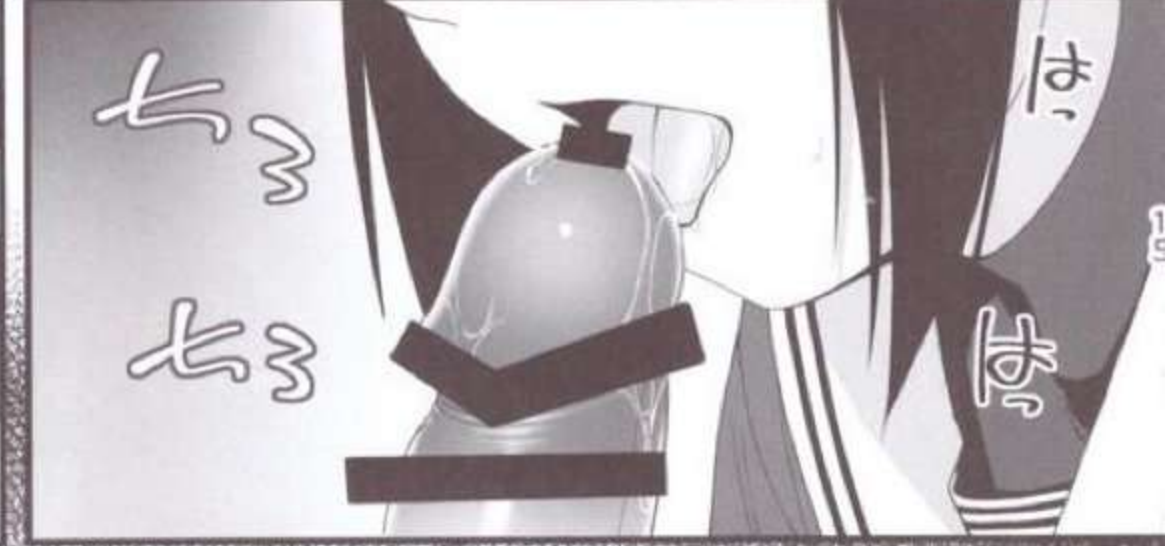
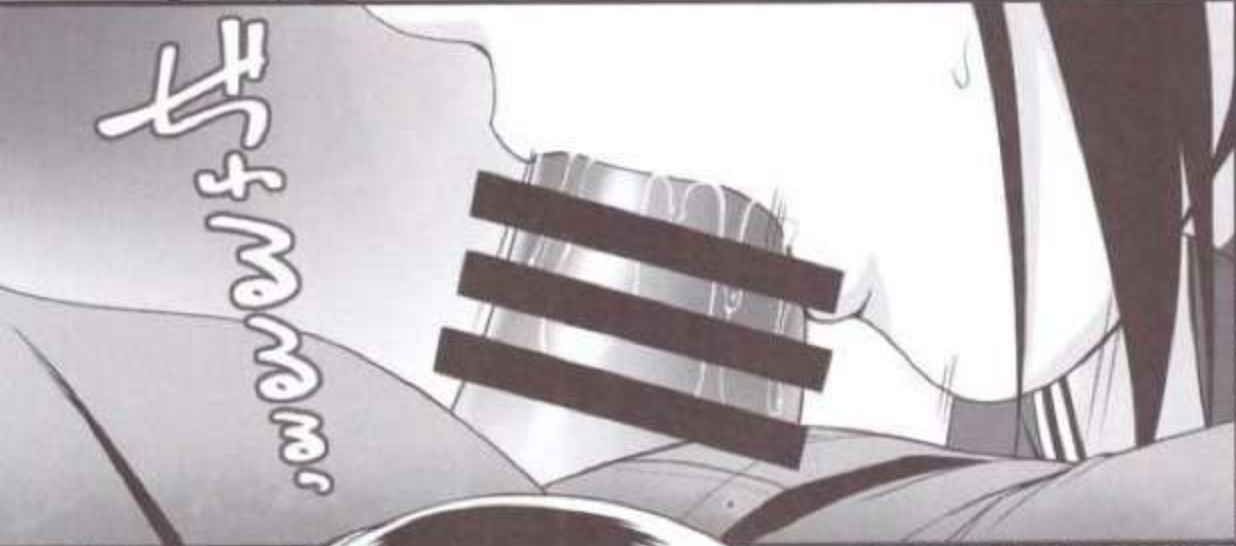
グッ





今…私…

お嬢様…
これで良いので
しよつか?



あいつ
以外の
モノに
ご奉仕を…







この様な「と」で
お嬢様の
為になるなら...

はっ

はっ

はっ

ぎゅ

ぎゅ



この様な
事位では—

私の
気持ち
揺らぐことなど...

ズッ

ズッ

ズッ

ぎゅ



エッ...あぁ...

やめ
そは...

ダメな
ところ...

コン

ズル

コン

ズル

ズル



満たされ
たく無い...

こんなので...

イ...イヤ...

はッ...

あッ...

あじっ...



お嬢様...
...私は...

この肉塊で...



ビク...



一発射精ごとにお仕事一回してあげるから...



それじゃあ次は今後のお仕事のお話をしようか？



君のお嬢様の為にも... それと...

君の下僕の為にもね...



これから毎日営業しに来るんだぞ？



ありがとうございます... ごきげんよう...

ハハッ!
だんだん良くなってきたぞ!

はー…

はー…

はー…

その調子でもっと
頑張らないとな?

おつかれさま…

ぞろぞろ

ぞろぞろ

ビクッ
ビクッ

彼によろしく…

…なんて
何もないと
良いけど…



—その
何…とは—

一体
何の「と」で
しょうか？

スッ…

あ…いや
それは…

—あら
おかえり♪

—アレ…!?

元はといえば
お嬢さまの寝坊の
せいですよ？

一体
誰のせいだと
思っているのですか…

おい…
そこのお前…

そのせいで私が
何をやる事にな
ったか…

お前の体で
再現しても
良いのですよ？

あは、
それって
どうするの？

コレがアイツの
あの中に簡単に
入るぐらいに…

…フムフム…

ぐッ…

-あとがき-

はじめまして、こんにちは!
この度は本誌をお手に取っていただきまして
誠にありがとうございます!

今回は千夜ちゃんの本ということで
いかがでしたでしょうか?
3度目の千代ちゃん本でしたが、前作とは違って千夜ちゃんがひどい目に
あったのか?あわなかったのか?という本になりましたが、
悲しいのは良くないですね・・・ひどい目にあうのはPだけで十分!
次はもっとPがひどい目に会うのになれは・・・
もっと脚でコネコネされるような・・・
パンストをもっと頑張って描かなければ・・・
ちとせがもっと出てくるお話を描ければ・・・と色々考えておりますよ。
その時はまたお付き合いいただけましたら幸いです。

それでは
よろしければまた次の作品でお会いいたしましょう～!
でわでわ～

野村輝弥

